

基督教独立学園高等学校

■学校の社会的役割(スクール・ミッション)

「神によって作られた人格」の尊重を自覚せしめ、天賦(てんぷ)の個性を発展させ、神を畏れるキリスト教的独立人を養成する。

■三つの柱(スクール・ポリシー)

◎ 育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)

☆神を畏れる人間☆

「神を畏れ、人を恐れない」真に自由で、真に独立した人を育てる。

☆天然から学ぶ人間☆

飯豊連峰の山懷に抱かれた叶水の大自然の中で学び、生活し、天然からのメッセージを受けとり創造主へと目を上げ、地球的視野を持ち、命を大切にするシンプルな生き方を着実に身につける。

☆労働する人間☆

牛・豚・鶏の世話、米や野菜作り、製パン、炊事、除雪等を通して、共同体の生活を支えあう労働作業を、全員で朝に夕に協力・分担することを丁寧に積み重ね自然の中で汗を流して労働することの労苦と喜びと充実を経験し、人間の土台をつくる。

☆自ら学ぶ人間☆

人間は「生きる」ために「学ぶ」ことを必要とし、学びへの意欲は、一人ひとりのなかに深く宿っている。先人の知恵と経験の土台を踏まえつつ、対話すること、吟味することを通し、一人ひとりが新たな知恵と経験に啓かれていくこと、そして、生涯探求し続けていく上での土台作りを目指す。

☆平和を創り出す人間☆

生徒全員と教職員の多くが同じキャンパスで生活を共にするなかで、異質なものを排除せず、互いの人格を尊重して共に生きることを大切にしている。「憲法勉強会」「思想・良心・信教の自由を守る日」、沖縄・韓国への「平和の旅」等を通して、戦争の事実を深く知り、世界の平和を創り出す人を育てる。こうした経験や学びを通して「非戦平和」への不屈の意志をもった人間を、この国と世界に送り出す。

◎ 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)

☆少人数教育を守る☆

1 学年25名定員とし、人と人との対話、ふれあいを大切にしていく。

☆生徒の「自治の力」を信頼する☆

学校行事や寮生活の運営責任を、可能な限り生徒の手に委ねる。

異なった環境で育ってきた生徒が教職員と協力して学校行事や寮生活を運営していく経験を通し、他者への尊敬、自立、協同の意味を深慮し、キリスト教的独立人を育む。

☆あえて「不便な環境」を保持する☆

TVや携帯電話(スマートフォン)のない共同生活のなかで、利便性や効率性優先の風潮を排し、直の経験から得られるものを大切にし、できるだけ簡素な生活をする。

◎ 入学者受付に関する方針(アドミッション・ポリシー)

☆ 聖書を学ぼうとする意志のある方

☆ 入学時に校長と交わす「契約(約束)の書」※を理解し、守ろうとする意志を持つ方

☆ 自然を相手とする勉強や生活に興味のある方

☆ 学びにおいても学校生活や寮生活においても自分を磨き、今の自分から成長したいという願いを持っておられる方

※ 契約(約束)の書は、独立学園で生活していくにあたり守るべきことを「生徒本人、保護者、校長」の三者で取り交わすもので、本校ホームページに掲載しています。